

湖南省タウンミーティングでの意見・アンケート集約

《テーマ：『公共施設の最適化に向けて』・『市民に開かれた安心安全な拠点づくりを目指して』》

【開催概要】

開催	開催日	時間	開催場所	参加人数
第1回	平成29年7月3日(月)	19時から20時30分	サンライフ甲西	53人
第2回	平成29年7月4日(火)	19時から20時30分	石部まちづくりセンター	34人
第3回	平成29年7月13日(木)	19時から20時30分	菩提寺まちづくりセンター	79人
第4回	平成29年7月14日(金)	19時から20時30分	サンヒルズ甲西	41人
合計				207人

○庁舎整備に関する主な質問・意見（庁舎に関する質問のみ）

主な質問要旨	回答要旨
イメージパースが書いてあるが、何階建てを想定して事業費を検討しているのか。議会・議員に対してどのような説明をしたのか	4階建て程度で収まらないか検討中である。あまり大きくなって費用がかさむようなものにはならないよう検討していく。議会に対する説明については、この庁舎建設についての特別委員会を作っていただいている。外部有識者による検討委員会と、職員で作っている内部の委員会での情報については議会のほうでも把握をしていただいている。議会で十分ご議論いただき、合意形成を図っていただく。
東庁舎建て替えはいつ予定しているのか。	平成32年度末が庁舎の竣工となり、その後解体と周辺整備に移る。あくまで事務局が考える最速のスケジュールなので、さまざまな方の意見や議会での議論をいただきながら進めていくこととなるので、スケジュールについてはあくまでも事務局案である。
東庁舎の近くに断層がある。ワンストップ機能など中央集中的な考え方よりも危険分散し、ランニングコストを安くして施設を延命させていくかが大事ではないか。唯一この西庁舎がこの地域に住んでいる者にとってはよりどころになる建物だ。今後の延命・存命の形を検討をぜひお願いしたい。	庁舎には免震構造を検討しており、大きな揺れも防ぐことが可能ではないかと考えている。中央に集めるということにつきましては、日常生活のワンストップ化ということで、同じところにサービス機能があるということが、一番効率的である。ただ、身近なところで万一の被災の時には対応するということは非常に大事なことで、小中学校の耐震化は全て済ませている。西庁舎についてのあり方についてもこれから議論をしていかなければならないと思っている。それはあくまでも、将来世代の負担も含めてどうしていったらいいのかという議論になってくると思う。
事業費の捻出の仕方、また、市民税など税金はどのようになるのか	60億強ぐらいになりますが、国の市町村役場緊急保全事業債がありますのでこれを活用しながら取り組んでいきたい。ですので、庁舎の建て替えに絡んで税を上げるということは今のところは考えていません。新庁舎を作ることによってライフサイクルコスト全体を押えていきたい。後年度の方々の負担をいただきながら長いスパンで見ながら進める。できる限り全体コストを落としながら後年度で負担が落ちていくような長期計画となるかと思っています。長期財政計画を今年度見直ししている最中であり、可能な形で取り組ませていただければと思っています。
庁舎整備で大切なのは市民を中心としたプロセスです。建て替えということであれば制度上の事業年度の縛りもありますが市民の声を先行させていただきたいと要望します。	基本計画までは行政として必要な機能性能を精査しながらすすめ、基本設計をする際に市民の皆様とワークショップをさせていただきながら細部の部分についても皆さんの意見を伺っていきたくと考えています。基本計画の策定にあたってはタウンミーティングだけでなくパブリックコメントなど行い、基本設計ではワークショップなどで皆さんのご意見を伺いたい。
耐震基準に満たない庁舎であれば立て直す必要があると思います。しかし60数億円という費用が掛かる。財政計画の見通しが立つのかという疑問がある。将来的に赤字の付けが市民に回ってくるのではないかと心配である。庁舎整備をすることで市民の行政サービスが低下するのではないかと。	面積については精査を行いもう少し事業費は押さえられると考えている。建物については、今の人が使うだけでなく将来の人も使用しますので、将来の人にも負担を頂きながら建てるという発想になります。新しいサービスをしていこうとするとそれなりの歳入が必要となってきます。予算を組んで皆さんからお預かりする税金の額と皆さんへの行政サービスの量のバランスを取っていくのが行政の財政であり、議会でご議論いただくこととなります。
建替えありきではなく、大きな地震でも耐えられる補強を専門家などに聞いて検討されればどうか	今の段階では建替えありきではないと考えていますが、耐震が出来ていない建物でこのままいけるとは考えていません。今現在のことでなく将来の方の安心安全を確保するという課題があるということを認識いただきながら市民の皆さんの中でも議論を頂きたい。現在の東庁舎は東西と南北のL字型になっておりどちらの方向から地震が来てもどちらかの建物が倒壊する危険があり、こうした庁舎で災害対応ができるのかという課題があります。皆様のご意見をいただきながら最終的に基本計画のパブリックコメントをおこない基本計画をまとめたいと思っています。また、その後基本設計に移る際も議会と十分議論させていただきたいと考えています。

○アンケートでの主な意見（庁舎整備に関するもの）《アンケート回収 124件》

- ・最近大きな災害が多く発生しているので少しでも早く建替えたほうがいい
- ・防災拠点となる場所として庁舎の整備は必要
- ・免震にして安全なもの。市民が使いやすいように
- ・集約することは良いことと思うが、利便性には十分留意を
- ・甲西図書館は土地の買い取りで現在の場所に残すのがよい
- ・図書館は 特別な環境が必要
- ・必要性と予算確保の判断になる
- ・十分な検討を願う
- ・庁舎は最低限の部署で良いのでは
- ・耐震化・延命工事をし、危機管理に特化した完全な特別施設の建設の方が重要
- ・災害に備え庁舎整備はやるべき
- ・庁舎整備の必要性を感じた
- ・石部まちづくりセンターと西庁舎どちらかに機能が果たせるように配慮を
- ・石部庁舎周辺を解体し、石部まち協を拠点とし、災害の際には総合施設として機能できるようにすればよい
- ・東西庁舎を残して利活用を
- ・石部の災害基地をどこに持っていくのか。西庁舎周辺の有効活用を
- ・ワンストップサービスにとらわれすぎないように
- ・費用対効果の検証を
- ・庁舎が新しくなることは良いことだと思います。めぐるくんでいけるようバス料金を安くしてほしい。
- ・災害拠点としての機能は実施すべき。現庁舎を活用して増築で十分では。
- ・図書館は、現状の2か所残すべき。今の庁舎を大切に使うべき。
- ・新庁舎より先に住民にとって安全な地域づくりをしてほしい。
- ・東庁舎の建て替えの必要性や庁舎機能の整備方針は理解できた。今後、市民が使用しやすい整備にしていきたい。